漕艇 (そうてい,ボート競技,ロウイング,rowing,)

概要

オールを使ってボートを漕ぐスポーツです。 手にパドルを持って漕ぐカヌーは、前向きに座りますが、ボートは、艇に取り付けられたオールを使って漕ぐので、進行方向に背を向けて座ります。 8人で漕ぎ1人のコックス(舵手)が乗る「エイト」や、1人で漕ぐ「シングルスカル」まで様々な種類があります。 1人の漕手が片側の1本のオールを漕ぐスイープ種目と、片手に一本ずつ、つまり一人の漕手が2本のオールを漕ぐタイプをスカル種目に大別できます。 ボートの競漕会をレガッタとも言います。



1人のコックスと8人の漕手が乗るエイト



1人漕ぎのシングルスカル

歴史

世界 手漕ぎボートの記録は、紀元前25世紀頃の古代エジプトやメソポタミア文明にまで遡れます。 近代スポーツとしてのロウイングは、英国で16世紀頃に始まりました。 ロンドンのテムズ川で乗客や荷物の運搬を生業としていた「ウォーターマン」の間で、乗客同士が賭けをしたところから競漕が始まり、やがて組織的に開催されるようになりました。 1829年にはオックスフォード大学とケンブリッジ大学の対抗戦が始まり、1839年にはヘンレー・レガッタが始まりました。 19世紀後半には、欧米中に広がりました。 艇も、構造や形が急速に進化していきました。 オリンピックでは、男子は1900年(パリ)から、女子は1976年(モントリオール)から始まりました。

日本 日本への伝来は1854年(安政元年), 長崎の海軍伝習所で教科として行われたあたりと言われています. 1866年(慶応2年)には、横浜で英国人がクラブを創立、1877年(明治10年)頃から英国人教師のF. W. ストレンジの尽力で、大学に漕艇部ができ始めました. 明治期には最初に日本に入ってきた舶来スポーツとして(ボールスポーツが入る前に)陸上とともに、とても人気が高かったのです.

ボートとクルー

ボート 競漕艇のハル(船体)は、昔は木製でしたが、現在は炭素繊維などの新素材でできています。 非常に細長く、横断面形状が丸く、シェル艇と呼ばれます。 そのままではバランスがと

知らない方へのロウイング紹介 作成20140221 改訂 240728 れませんが、外側に取り付けたアウトリガーに、オールを支える支点(オールロック)があり、長いオールを両側に出すことでバランスが保てます. 座席がレール上を前後に動き、艇に固定されたシューズを履き、脚力をメインエンジンにして漕ぎます.



脚力を動員できるスライディング・シート

ボートメーカーは、日本国内で生産しているのは、桑野造船(滋賀県大津市)のみです。(他に輸入ディーラーが数社あります。)

艇種 漕手数, 舵手の有無, オール(スイープ/スカル)などによって, さまざまな艇種(種目)があります. スイープ種目には, 8人漕ぎの舵手つきエイト, 4人漕ぎの(舵手なし)フォアと舵手つきフォア, 2人漕ぎの(舵手なし)ペアと舵手つきペアなど, スカル種目には, 4人漕ぎのクォドルプルと舵手つきクォドルプル, 2人漕ぎのダブルスカル, 1人漕ぎのシングルスカルなどです.

規定とサイズ 競漕艇には重量規定があります(エイト:96kg 以上,シングルスカル:14kg以上など). サイズの規定はほとんどなく,平均的な全長は,エイトで約17m,フォアで約13m,シングルスカルで約8mです.

クルー 一艇に乗るチームを**クルー**と呼びます. 漕手のポジションは, バウ(船首)から順に番号が割り当てられ, 最も**バウ**よりの漕手を「バウ」, 続いて2番, 3番と呼び, 最もスターン(艇尾)よりの漕手を**ストローク**または**整調**せいちょうと呼びます.

レースと記録

競漕距離は、世界選手権やオリンピックは2000m、国体や高校総体は1000mです。 タイムは風や流れに大きく影響されるので「世界記録」はなく、代わりに「世界ベストタイム」があります。 男子エイトでは5'18"68、男子シングルスカルでは6'30"74、女子エイトでは5'52"99、女子シングルスカルでは7分07"71です(2024年7月現在).

水域と活動

国際漕艇連盟(World Rowing Federation)には、世界で157の国・地域が登録されています. 欧米で盛んな半面、アジア、アフリカ、中南米では一部の国・地域に限られています. 日本には約15 0の活動水域があり、主な水域としては、茨戸(北海道)、長沼(宮城)、戸田(埼玉)、天竜(静岡)、琵琶湖(滋賀)、班蛇口湖(熊本)などがあります. 日本ボート協会の選手登録数は約1万人程度で、高校・大学が多くを占めますが、レクレーショナルスポーツ、児童スポーツとしての発展も期待しています. また障害者のロウイング(パラ・ロウイング)も盛んになりつつあります.